



油圧バルブ（当社製品）

- 本社所在地：石川県白山市
- 事業概要：産業機械部品（油圧バルブ）
- 常時使用する従業員：66名
（2026年2月時点）
- 現在の売上高：20億円
（2025年5月期）
- 法人番号：2220001008860
- Web：https://e-sankoh.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
建部 大介

顧客の装置価値を最大限に引き出す製品で明るい未来を創る

三光製作所は1938年の創業以来、建設機械・産業機械向け油圧製品の製造を通じて、ミクロン単位の精密加工技術と高度な清浄度管理を磨いてまいりました。私たちは、顧客が製作する装置の性能を最大限に引き出す油圧バルブ等の設計開発力を強みとし、技術力で価値を創造する企業です。次なる成長ステージとして、培ってきた精密加工・流体制御技術を進化させ、AIサーバー向け液冷分野へ挑戦いたします。日本のAIインフラの安定稼働を支える中核企業へと成長し、売上100億円規模の企業を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成に向け、2028年に新工場を新築し、全自動洗浄設備等を導入により生産性向上と品質安定を実現します。これにより増産体制を確立し、成長需要への対応力を強化します。2029年よりAIサーバー向け製品の受注を開始し、次世代インフラ市場へ本格参入します。さらに2031年には半導体関連分野へ展開し、高付加価値製品の開発を推進します。既存事業の高度化と成長分野への戦略的展開を両立し、持続的かつ加速的な成長を実現します。

課題

- 油圧バルブ手動切換えから電磁弁による自動切換えへの需要変動に伴う電磁弁の開発強化と生産性の向上
- AIサーバー向け液冷システムに対応した高性能水バルブおよび水カプラの開発強化と量産体制の確立
- 半導体製造装置の高度化に対応する高精度水バルブの開発強化と量産体制の確立

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 全自動洗浄装置を導入し、洗浄工程を標準化・自動化することで、生産能力向上と不良率低減を実現
- 組立工場再編により工程レイアウトを再設計し、動線を最適化することで、バルブ組立効率を向上させ、増産に対応可能な柔軟な生産体制を構築
- 次世代AIサーバー市場を見据え、液冷用水バルブに関する情報収集および研究開発を推進
- DXにより生産データを可視化し、品質安定と工程改善を実現してデータドリブン経営へ転換

実施体制

- 水バルブ専門メーカーの元部長職と顧問契約を締結し、市場・顧客ニーズを的確に把握するとともに、製品開発力を強化
- 洗浄装置メーカーと連携し、自社仕様の全自動洗浄装置を共同開発することで、品質および生産性の向上を図る
- 開発部門の増員と育成を進めるとともに、DXを強化し、技術開発力と業務効率の高度化を実現

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現に向けた目標と具体的成長戦略

売上高100億円実現に向けた目標



売上高100億円実現に向けた具体的成長戦略

- 1. 全自動洗浄装置導入による生産能力の抜本的向上**
 AI・油圧バルブ製品においては、ミクロン単位の精度に加え、極めて高度な清浄度管理が求められる。当社は全自動洗浄装置を導入し、洗浄工程の自動化・標準化を推進する。これにより、洗浄品質の安定化、不良率の低減、処理能力の向上を同時に実現する。結果として、生産数量の拡大と高付加価値製品への対応力を強化し、売上拡大を支える基盤を構築する。
- 2. 組立工場再編による高効率・高柔軟生産体制の確立**
 売上拡大に伴う生産増加に対応するため、組立工場のレイアウト再設計および工程統合を実施する。動線の最適化、作業の標準化、多能工化を推進し、多品種少量から中量産まで柔軟に対応可能な体制を構築する。これにより、生産リードタイムの短縮と製造原価の低減を実現し、競争力を強化する。
- 3. AIサーバー向け液冷用水バルブの研究開発推進**
 生成AIの普及により、AIサーバー向け液冷市場は急拡大している。当社はこれまで培った精密加工技術および流体制御技術を活かし、液冷システム用水バルブの研究開発を推進する。市場情報の収集、試作評価、設計最適化を段階的に進め、GPU世代に依存しない高信頼性モジュールの確立を目指す。これにより、新規事業の柱を構築し、持続的成長を実現する。
- 4. DX活用による品質・工程管理の高度化**
 品質データおよび工程データのデジタル管理を強化し、生産状況の可視化とトレーサビリティ体制を確立する。データ分析に基づく工程改善を推進することで、不良削減、作業効率向上、属人化の解消を図る。DXによる経営高度化は、安定供給体制の構築と顧客信頼の向上につながり、長期的な売上拡大を支える重要基盤となる。